

岸和田市×民間企業×大学の協働による 市民参加型イベント創出事業



岸和田駅前

#観光産業活性化
#産官学連携
#SDGs教育

DATA

- **主な連携先・メンバー**
岸和田市／フラックワークス株式会社／
関西大学外国語学部井上ゼミ
- **活動地域**
大阪府岸和田市
- **活動期間**
2025年9月25日～2026年3月31日
- **活動資金**
民間助成金（フラックワークス社申請）＋岸和田市協力

目的

デジタルツールと市民参加型イベントを通じ、観光振興・SDGs教育・地域内外の交流促進を図る産官学連携モデルを構築すること。

連携に至る経緯

フラックワークス社が関西大学井上ゼミ制作の岸和田観光 Web サイトに関するプレスリリースを見て連携を希望し、民間助成金を獲得して事業を企画。岸和田市が協力し、三者で市民参加型イベント（ウォークラリー・SDGs学習企画）を実施する枠組みが整った。

活動内容

フラックワークス社が民間助成金を獲得し、岸和田市と関西大学井上ゼミが協働して、市民参加型のイベント創出に取り組む産官学連携プロジェクトである。主な活動は、①岸和田市内で実施する「謎解きウォークラリー」の企画・広報、②小学生がSDGsについて学び、当日のドリルの正答結果が寄付数に反映される「SDGs教育イベント」の実施である。井上ゼミの学生は、クエストの作問、リハーサル運営、

SNS広報、当日のサポート、小学生との交流などを担当し、英語運用能力や企画・発信力を実践的に養っている。また、井上ゼミが運営するSNSアカウント（岸和田バズり隊）と連動させ、デジタル上での広報とイベント現場を結びつけた新しい地域連携の形を構築した。本取り組みを通じて、市民の回遊性向上、SDGsの理解促進、自治体と大学・企業のパートナーシップ強化が期待されている。

フラックワークス社との
初回打ち合わせ



岸和田城



岸和田城のお堀の横の道



チラシ_岸和田謎解き
ウォークラリー2025

活動の成果

- ≫市民参加型イベントによる回遊性向上と地域活性化
- ≫小学生のSDGs理解促進と学習意欲の向上
- ≫産官学連携モデルの確立と他自治体展開の可能性

今後の課題・目標・展開の可能性

- ≫市民参加型イベントの継続と多言語化による発展
- ≫デジタル教材と観光施策の統合的展開
- ≫多文化共生に寄与する地域連携の深化

連携先からの一言

昨年度の学生さんの成果品がきっかけで、このような事業に結びついたことは大変うれしく思っております。また、これにより学生さんの活動のモチベーションになっていければ、より意味のある取り組みだと感じました。

（岸和田市総合政策部企画課 向井 香織氏）



地域連携を通じ、学生が語学力・企画力・発信力を高め、社会人と同じ視点で地域課題に取り組む力を養うことを重視している。

